

「広報ふだい」ある限り

平成十七年三月三十一日の期限付き時限立法（市町村合併）の法律を前に一月九日、隣村の野田村と「任意合併協議会」が設立され、事務局は野田村役場内に設置することに決まりました。約半年ほど（予定）の事務作業を終えた

後、方向性が示されることになっていきます。村がこれから先、どのような経過をたどりどこへゆくのか、非常に厳しいものがあります。しかし、村民の皆さんの協力でつくりあげてきた「広報ふだい」は永久に不滅です。

村の歴史がそのとき（市町村合併の方向付けなど）を迎えるまで、「広報ふだい」は、村民の皆さんとともに歩み続けていきます。



釜谷 壽人さん
(太田名部・61歳)

陸中海岸国立公園に指定されたとき、普代中の一年生でした。



熊谷スガヲさん
(堀内・74歳)

村章が決まったとき私は35歳子育て戦争中でした。



加差野常吉さん
(緑区・80歳)

村民憲章と花・鳥・木が制定されたときバリバリの53歳でした。



中村恵利子さん
(旭日区・35歳)

普代音頭のイーハトーブ普代ができたとき、私は中学三年生でした。



金子 淳くん
(黒崎小6年)

役場の庁舎が完成したとき僕は一年生でしたが、立派だと思いました。

59年1月に普代音頭ができました

「イーハトーブ普代」

丸い地球は 海まで丸い
蒼い輪を描く 水平線
両手掲げて 黒崎岬
春の朝日を 胸に抱く
イーハトーブ 普代村
北緯四十度

※ここじゃ誰でも 自然人
普代 ダイダイ、ダイダイ
ダイダイ イーハトーブ

シロバナシヤクナゲ 北山崎に
咲いて 陸中 夏が来る
燃える青春 ぶっつけ合って
ふかすエンジン トライアル

※繰り返し
海のアルプス 出逢いを求め
ザックひとつの 船の旅
たばこ一服 見上げる空に
秋の気配の いわし雲

※繰り返し
グラス傾け サケ鍋かこみ
しのぶ義経 ものがたり
都会ぐらして 忘れたものを
冬の炉端で 想い出す

※繰り返し